

東京放射線

2015年10月号

Vol.62 No.732



公益社団法人 東京都診療放射線技師会
<http://www.tart.jp/>

連 報 お知らせ 平成26年度新人奨励賞 受賞報告 松永麻美
載 告 第13地区・多摩放射線技師連合会合同研修会
誌上講座 第2回 超音波
第56回きめこまかな生涯教育

卷頭言 応機肝要 篠原健一
地球環境保全活動 荒川クリーンエイド2015@北区 荒川岩淵関緑地

地球環境にやさしく、コストの削減にもつながる 医療機器のリユースをご提案しています。

過去、現在、品質上使用可能な多くの医療機器が産業廃棄物として処理されている状況です。

当社ではこのようにして廃棄されていた医療機器を買取、整備、販売することで、

消費廃棄型から循環型社会への貢献に率先して取り組んでいます。

今後も医療関係者の皆様にご協力いただき、医療機器のリユースを軸にして、

社会の環境保全に努め、医療機器の高価買取、安価で優良な中古医療機器の販売等、

皆様に喜んでいただけるサービスをご提供させていただけるよう努力してまいります。



社会貢献活動の一環として、
ケニア共和国大使館に医療機器を寄贈しました。

査定見積無料

豊富な買取実績を持つ当社に
お気軽にご相談ください。

廃棄処分をお考えの機器はございませんか？

医療機器を引取致します。

当社にお売り
ください。

廃棄処分費用のコスト削減

CT、MRI、アンギオ装置などの大型機器から一般撮影装置、CRまで買取致します。
機器更新の際などにご活用下さい。

地球環境への配慮

使用しなくなった医療機器を当社で処分いただくことにより、管理経費の削減と
保管スペースのムダを省き、環境保全にも繋がります。

医療機器のことならグリーンメディカルにお任せください。

GM Green Medical 株式会社グリーンメディカル 中古医療機器のトータルサプライヤー

東京本社

135-0051 東京都江東区枝川3-10-10 2F
TEL: 03-5653-3911 FAX: 03-5653-3912

お問い合わせは…

0120-863-001

受付時間
平日: 9:00 ~ 18:00
土・日: 10:00 ~ 17:00

中古医療機器の販売もしております。
詳しくは当社WEBサイトをご覧ください。

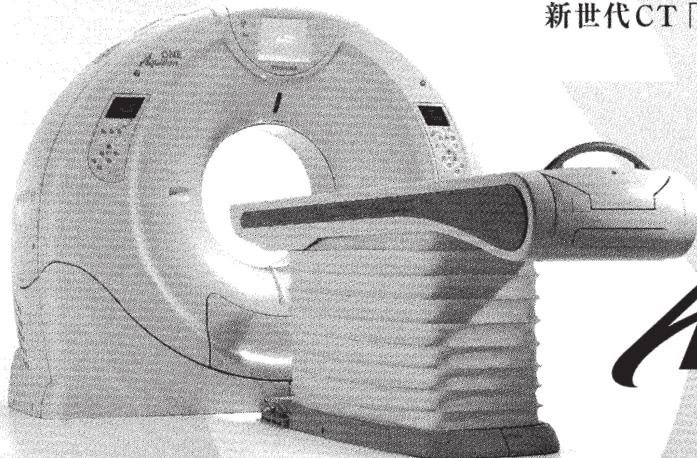
<https://www.green-medical.jp>

グリーンメディカル

検索

たった1回転で全脳が診える。心臓が診える。

Area Detectorが、1回転で全脳も心臓もフルカバー。
新世代CT「Aquilion ONE」の誕生です。



AquilionTM
Area Detector CT



東芝メディカルシステムズ株式会社

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地 お問い合わせ先 03-3818-2170(東京本社)
<http://www.toshiba-medical.co.jp>

承認番号:219ACBZX00029000
東芝キャナ Aquilion ONE TSX-301A

MORIYAMA多目的診断用保持具

Round Foam

多目的診断用保持具・ラウンドフォーム

MORIYAMA

しっかり安定、ラクラク撮影!
患者さんの負担を軽減し、
撮影の妨げを解消する
「ラウンドフォーム」

ラウンド加工により、
患者さんにもやさしいソフトな感触。
X線撮影時にエッジ部分が
写り難くなりました。

MORIYAMA
Round
FOAM

※RoHS指令(特定の有害物質使用規制に関する指令)に対応しております。

MORIYAMA 株式会社森山X線用品 営業部/〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24番11号 TEL.03-3811-5811(代) FAX.03-3811-5484
本社/〒123-0873 東京都足立区扇1丁目52番12号 TEL.03-3898-3151(代) FAX.03-3898-3510
MORIYAMA X-RAY EQUIPMENTS CO.,LTD. <http://www.moriyama-x.co.jp> E-mail info@moriyama-x.co.jp

目 次

スローガン
チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

接遇規範	4
巻頭言 応機肝要	5
会告1 地球環境保全活動 荒川クリーンエイド2015@北区 荒川岩淵閑緑地	6
会告2 第50回日暮里塾ワンコインセミナー	7
会告3 第56回きめこまかな生涯教育	8
会告4 第51回日暮里塾ワンコインセミナー<学術教育がゆく/入会促進>	9
会告5 平成27年度第3回業務拡大に伴う統一講習会 (南関東)	10
会告6 第18回メディカルマネジメント研修会	12
会告7 日本診療放射線技師会の勤続30年及び50年表彰について	13
お知らせ1 学術教育委員会からのお知らせ	14
お知らせ2 第13地区・多摩放射線技師連合会合同研修会	15
お知らせ3 第6地区研修会	16
お知らせ4 第3地区研修会	17
お知らせ5 第4地区研修会	18
平成26年度新人奨励賞 受賞報告	19
連載 誌上講座 第2回 超音波	22
こえ	
・「中央区クリーンデー」に参加して	26
・日暮里清掃活動（クリーン日暮里21）に参加して	27
・「KSHS第5回全国大会」に参加して	28
NEWSひろい読み	30
パイプライン	
・平成27年度 胃X線検査従事者講演	32
・平成27年度 第1回乳がん検診従事者講演会	34
・第31回日本診療放射線技師学術大会	36
・超音波スクリーニング研修講演会2015有明	37
・第39回日本脳神経CI学会総会	38
平成27年5・6月期会員動向	39

Column & Information

・イエローケーキ	42
・求人情報	42
・学術講演会・研修会等の開催予定	43

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、性・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

卷頭言



応機肝要

会長 篠原健一

幕末、佐藤一斎が出身地の岩村藩のために選定した十七条の憲法「重職心得箇条」があり、第五に「応機と云う事あり肝要なり」とある。「物事何によらず後の機は前に見ゆるもの也。其機の動き方を察して、これに従うべし」と続く。機に応ずる大切さを説くが、紙幅の都合により詳述は省く。(佐藤一斎「重職心得箇条」を読む：安岡正篤著。致知出版社)

本年4月の診療放射線技師法改正による「業務範囲拡大に伴う統一講習会」を本会では全国に先駆け、7月18日(土)～19日(日)に第1回を開催した。9月に第2回を開催し、11月に第3回、年度内に5回(または6回)開催する予定である。一回の実施可能人数が約60名、実施主体の日本診療放射線技師会の方針により本年度は過去に「静脈注射(針刺しを除く)講習会」を修了した方から受講を受け付けるなど制約があるため、さまざまな要望・ご意見をいただいており、できるだけ早期かつ幅広い対象者による講習会の実施を日本診療放射線技師会とともに検討中である。

しかしながら突然降って湧いた話ではなく、平成23年11月に厚労省チーム医療推進会議による「診療放射線技師の業務範囲拡大」が答申されて以来、本会だけでも2年以上にわたり計12回の「静脈…講習会」を実施し、全国で約5千名の方が受講済みとなっている。日本診療放射線技師会としては、まずこの方たちを統一講習会修了者に認定することが効率的であると判断して開始したのである。東京都の立ち入り検査では、本年3月31日付けの医政局課長通知に則り、「業務範囲拡大における各種業務については、技師会が実施する安全(統一)講習会を終了したものに限る」との指導があった。ある施設からは、所属スタッフに受講を促しても「静脈…講習会」を未受講なので受けられない、何とかしてほしい…という声も聞かれた。このことには真摯に耳を傾ければならないと思っているが、前述のように全国で会員数の約5～6人に一人は「静脈…講習会」の修了者がいることも実態である。二桁以上の技師数がいる施設で一人も受けられない実態の方が漫然と機を逸しているといえなくはない。それはともかく、責任ある職能団体としてさまざまな要件を満たすべく努力する所存である。会員・非会員を問わず積極的な受講をお願いする次第である。

このたびの業務範囲拡大において、厚生労働省では診療放射線技師に限らず各職能団体の患者安全に対する適切な教育の実施状況、業務拡大によって日本の医療・チーム医療が良くなつたのかなどを検証する委員会を作ることである。当然のことである。これによる評価如何では、更なる業務拡大への論議につながる可能性が広がる。しかしながら、逆も真なりである。

今回の法改正に至るまで、最初の答申から2年以上かかった。さまざまな調査・準備期間を含めると案件にもよるが最低でも4～5年かかるのである。さらに、安全講習会を推進する期間などを含めると、通常の組織のスパンでは役員の任期・在任期間を超える場合がほとんどである。いつかやろう、誰かがやるであろうでは実現できないのである。平成28年度入学以降の養成校学生は、業務拡大を踏まえたカリキュラムで卒業してくる(平成31年度以降)。それがゴールではなく、われわれには更なる業務拡大、被ばく低減施設普及、臨床実習のあるべき姿の構築、診療放射線技師法の抜本的改正など中期・長期に取り組むべき課題が山積している。自分たちのため、今のためではなく、世代を超えて国民医療・福祉のため、将来の診療放射線技師のために行動すること、あるべき未来のためにいま何をしておくか「応機」が肝要である。皆さまの一層のご理解・ご協力を願う次第である。

会 告

1

地球環境保全活動 荒川河川敷清掃活動

「荒川クリーンエイド2015@北区 荒川岩淵関緑地」

これまで公益社団法人東京都診療放射線技師会では、第5地区を中心に環境をテーマにボランティア活動の一環として、富士山、富津海岸、日暮里駅前などの清掃活動を行ってまいりました。

今回は技師会事務所に程近い荒川河川敷にて、荒川クリーンエイドに参加して清掃活動を実施します。荒川の自然を守り、動植物に優しい河川環境を作ることを目的とした趣旨をご理解いただき、ふるって参加くださいますようご案内申し上げます。

記

日 時：平成27年10月18日（日）（受付開始 9時30分～）

作業時間：10時00分～13時00分（予定）

*雨天の場合中止

場 所：荒川岩淵関緑地 岩淵船着き場近く

*現地集合になります。技師会スタッフジャンパーを目印にご参加ください。

交 通：東京メトロ南北線「赤羽岩淵駅」より徒歩約20分

作業内容：河川敷の清掃活動

参 加 費：無料

会場主催：北区 まちづくり道路公園課/特定非営利団体 荒川クリーンエイド・フォーラム

そ の 他：参加団体は町会・自治会・ボランティア団体・小学校・企業など多数

軍手、ごみ袋、トングはお渡します。

申込方法：事前登録が必要なため、参加希望の方は下記へお申し込みください。

詳細な案内を連絡させていただきます。

問い合わせ：第5地区委員長 鈴木雄一 E-Mail :area05@tart.jp

以上

第50回 日暮里塾ワンコインセミナー 「乳腺トモシンセシス」

今回は乳腺トモシンセシスの技術と画像について実機（WS）を持込み説明いただきます。
3ブースに分かれ、1回の説明を15～20分で行いますので、全てのメーカーの画像を見ることが

できます。

装置導入を考えている施設、各社の画像を見たい方、各社の技術の違いを見たい方などには最適なプログラムとなっています。

- | | |
|-------------------|---------|
| ・株式会社日立メディコ | 小林 章乃 氏 |
| ・GEヘルスケア・ジャパン株式会社 | 阿久津拓光 氏 |
| ・シーメンス・ジャパン株式会社 | 平林 克巳 氏 |

多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成27年10月22日（木）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

参 加 費：会員500円、非会員3000円、新卒かつ新入会・学生・一般 無料

※<学術教育が行く／入会促進>ではありませんので参加費に違いがあります。

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。※当日参加も可能です。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

3

第56回 きめこまかん生涯教育

テーマ「大腸X線検査～より安全な検査構築を～」

今回は注腸X線検査について勉強したいと思います。注腸X線検査は平成27年4月に業務範囲の拡大で検査の多くの部分を担当することが可能となりました。

今回はより安全な検査環境、検査の確立を目的に企画いたしました。解剖から検査器具、リスクマネジメント、より安全な検査進行、撮影手技など一線級で活躍されている方々に解説をしていただきます。

多くの方の参加をお待ちしております。

プログラム

15:00—15:45 「腹部解剖（大腸走行を中心）と安全な検査を施行する前に
知っておきたい知識・装置・患者心理」

公立福生病院 市川 重司 氏

15:45—16:30 「基本撮影手技と安全な空気挿入手技」

国家公務員共済組合連合会 立川病院 竹内 金枝 氏

16:30—17:00 「ブレイクタイム（大腸X線検査用造影剤の組成）」

堀井薬品工業株式会社 中堀 朋彦 氏

17:00—18:00 「病变描出手技と安全な患者取扱い（動画）」

東京労働者医療会 東葛病院 安藤 健一 氏

記

日 時：平成27年10月31日（土）15時00分～18時00分（受付開始：14時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員2,000円、非会員10,000円（当日徴収）

定 員：50名（定員になり次第締め切り）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術教育3.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会告 4

第51回

日暮里塾ワンコインセミナー<学術教育が行く/入会促進>

テーマ「診断参考レベルの意義と技師に求められるもの」

講 師 横浜労災病院 渡邊 浩 氏

19:00—19:10 技師会紹介

19:10—20:10 診断参考レベルの意義と技師に求められるもの

記

日 時：平成27年11月17日(火) 19時00分～20時30分

場 所：東芝病院 2号館4階 講堂 ☎140-8522 東京都品川区東大井6-3-22

アクセス：JR京浜東北線大井町駅（ヤマダ電機側）より徒歩約7分

東急大井町線大井町駅より徒歩約9分

りんかい線大井町駅より徒歩約9分

京浜急行立会川駅より徒歩約10分

受 講 料：診療放射線技師（当日微収）500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※当日参加も可能です。

カウント付与：日本診療放射線技師会

生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司

E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

TEL・FAX : 03-3806-7724

以上





平成27年度第3回業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。本会において今年度5回実施予定の3回目で、JR東京総合病院の施設をお借りして開催します。

記

日 時：平成27年11月7日（土）13時50分～17時30分（受付13時00分から）
平成27年11月8日（日） 8時25分～17時10分

場 所：JR東京総合病院
〒151-8528 東京都渋谷区代々木2-1-3

ア ク セ ス：JR新宿駅南口徒歩5分、代々木駅北口徒歩5分

受 講 料：会 員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会 員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者：5,000円、静脈注腸受講者：3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

注）今回は、静脈注射（針刺しは除く）講習会受講者のみを受講対象とします

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません

ア）講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ）欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます

申込期間：平成27年10月5日～10月24日

以上

プログラム

平成 27 年 11 月 7 日 (土)

時限	時 間		内 容	
	13:50～14:00	10	オリエンテーション	——
1	14:00～14:50	50	下部消化管 1	講義 (DVD 聴講)
2	14:50～15:40	50	下部消化管 2	講義 (DVD 聴講)
3	15:50～16:40	50	下部消化管 3	講義 (DVD 聴講)
4	16:40～17:30	50	下部消化管 4	講義 (DVD 聴講)

平成 27 年 11 月 8 日 (日)

	8:25～ 8:30	5	オリエンテーション	——
5	8:30～ 9:20	50	法改正	講義 (DVD 聴講)
6	9:20～10:10	50	IGRT1	講義 (DVD 聴講)
7	10:20～11:10	50	IGRT2	講義 (DVD 聴講)
8	11:10～12:00	50	IGRT3	講義 (DVD 聴講)
	12:00～13:00	60	昼休み	——
9	13:00～14:00	60	BLS	実習
10	14:10～15:00	50	下部実習	実習
11	15:00～15:50	50	IGRT 実習	実習
12	16:00～16:50	50	確認試験	試験
	17:00～17:10	10	修了式	



第18回 メディカルマネジメント研修会

テーマ「医療従事者（診療放射線技師）が知っておきたい
医療安全対策（リスク・マネジメント）と医療訴訟」

講 師：労働衛生コンサルタント・産業医

東京大学医学部附属病院 医師・医学博士 関谷 剛 先生

第18回メディカルマネジメント研修会は、昨今の医療安全対策関連について取り上げます。

業務拡大などで社会的認知度の高まる一方、業務への責任も増え、それに伴い医療訴訟も増加傾向にあります。したがって、適切なリスク・マネジメントを行うことが重要です。今回は医療従事者が知っておかなければならぬリスク・マネジメントを取り上げ、医療訴訟に巻き込まれないようなポイントを解説到します。

<内容>

1. 医療安全に関する基礎知識（医療過誤、医療事故の違いなど）
2. 診療放射線技師と法律上（医師法、技師法）の問題、関わり、権利
3. 実際の医療事故（インシデントを含む）で注意すべき点
(個人情報保護、インフォームドコンセント、検査依頼、受付、撮影室内、検査中、検査後などにおけるリスク)
4. 降りかかる医療訴訟リスクを回避するために何をすべきか

記

日 時：平成27年11月12日（木）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徵収）

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

日本診療放射線技師会の 勤続30年及び50年表彰について

渉外委員会

日本診療放射線技師会より本会に対し、標記について永年勤続表彰候補者の推薦依頼がありました。

今年度の資格到達者は本会で調査いたしますが、調査漏れなどにより平成27年9月30日までに本会から連絡がない方、または前年度までに資格到達された方で受賞の意思のある方は、お手数ですが平成27年10月15日までに東京都診療放射線技師会事務所までご連絡くだされば幸甚に存じます。

規程内容分旨

【勤続30年表彰】

1. 平成28年3月31日現在において放射線関連業務に従事して勤続30年以上であること（診療エックス線または診療放射線技師免許取得が昭和61年3月31日以前の方）
2. 平成13年3月31日までに入会し引き続き日本診療放射線技師会会員であること（15年以上継続会員）
3. 表彰される年度（平成27年度）までの会費を完納していること
4. 会の名誉を傷つける行為のないこと
5. 過去において同じ表彰を受けたことがないこと

※ 会員番号19622番までの方 旧教育会館設立のための出資または寄付をされていない方は日本診療放射線技師会に金2万円の寄付が必要です（30年表彰のみ）。

※ 会員番号19623番以降の方は、上記※ の対象外（寄付がなくても推薦の対象となります）ですのでお間違いのないようお願いします。

【勤続50年表彰】

1. 前記永年勤続表彰30年（旧25年表彰）を受けた者で、引き続き50年に達するまでの間、会員として在籍し会費を完納した方
2. 前項4および5に同じ

*必要書類

日本診療放射線技師会指定の履歴書

以上

お知らせ

1

学術教育委員会からのお知らせ

日暮里塾ワンコインセミナーの開催は、研修センターのある日暮里を中心に開催をしておりましたが、平成27年度は都内各所（6回予定）に出向き開催を予定致します。

名称は「日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く/入会促進＞」とし、一人でも多くの方に技師会を見ていただき、入会ならびに自己研鑽の場として活用していただきたいと考えております。加えて東京都診療放射線技師会が都民の医療を担う団体として、皆さまの協力のもと成長したいと考えております。

・・・日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く/入会促進＞・・・

Part1 第44回日暮里塾ワンコインセミナー (終了しました)

日時：平成27年3月11日（水） 場所：三鷹産業プラザ
内容：着眼点＜咳＞
講師：山下晃司（杏林大学医学部付属病院）

Part2 第46回日暮里塾ワンコインセミナー (終了しました)

日時 平成27年6月12日（金） 場所：東京都済生会中央病院
内容 ミエログラフィ（透視検査からCT撮影まで）
講師 佐藤靖高（公立福生病院）
講師 河内康志（東京都済生会中央病院）

Part3 第48回日暮里塾ワンコインセミナー (終了しました)

日時 平成27年7月24日（金） 場所：順天堂大学医学部附属順天堂医院
内容 着眼点＜頭痛-MRI＞
講師 鈴木雄一（東京大学医学部附属病院）

Part4 第49回日暮里塾ワンコインセミナー (終了しました)

日時 平成27年9月30日（水） 場所：東京都診療放射線技師会研修センター
内容 基礎からの一般撮影
講師 森 剛（帝京大学医学部附属病院）

Part5 第51回日暮里塾ワンコインセミナー

日時 平成27年11月17日（金） 場所：東芝病院
内容：診断参考レベルの意義と技術に求められるもの 講師：渡邊 浩（横浜労災病院）

Part6 日時 平成28年1月

内容：未定 場所：江戸川方面

講師：未定

◆詳細は会告にてお知らせいたします。

◆問い合わせ 学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujiyu@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

お知らせ 2

第13地区・多摩放射線技師連合会合同研修会 テーマ「マンモグラフィーを軸とした症例検討会」

今回は多摩放技との合同研修会を開催いたします。以前多摩放射線技師連合会にて開催し、とてもご好評をいただいた研修会内容です。

5施設（予定）よりMMGを軸としMRI、USなどを含めた症例を解説していただき、参加者の方々には症例発表ブースを回っていただくという形式をとります。

今までの規模の大きな勉強会とは異なり、近い距離で画像を目にすることができる、質問しづらかったことも講師に直接質問のできるよい機会かと思われます。初心者の方はもちろん、またベテランの方にも再度知識の確認にもなるかと思われます。

ぜひ皆さまのご参加をお待ちしております。

[発表施設・講師は決まり次第、東放技ホームページにてお知らせします]

記

日 時：平成27年10月30日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時15分～）

会 場：国分寺労政会館 第4会議室

東京都国分寺市南町3-22-10 TEL 042-323-8515

ア クセス：JR中央線 国分寺駅南口より 徒歩約5分

受 講 料：診療放射線技師500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

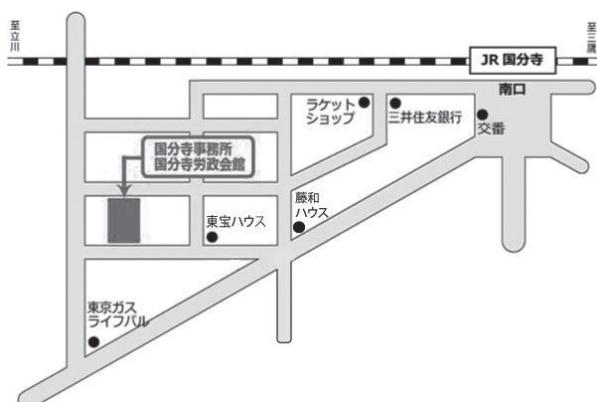
申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（※当日参加も可能です）

問い合わせ：第13地区委員長 崎浜 秀幸 E-Mail : area13 @tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

【会場地図】



お知らせ

3

第6地区研修会

テーマ 「認知症高齢者への関わり方 ~ユマニチュードを通して~」

講師 東京さくら病院 リハビリテーション科 村島 久美子 氏

皆さんは、患者さんとの接し方をどのようにしていますか？ オレ流・私流で行っているのではないでしょうか。その接し方はどのようにして学びましたか？ また、その接し方で患者さんは満足しているのでしょうか？

今回、患者さんとの接し方を学ぶため「ユマニチュード」を取り入れ、業務を行っている村島久美子先生をお呼びして、考え方や実践方法を教えていただきます。「ユマニチュード（Humanitude）」は、フランスのイブ・ジネスト（Yves Gineste）氏とロゼット・マレスコッティ（Rosette Marescotti）氏によって作り上げられた、知覚・感情・言語による包括的なコミュニケーションに基づいたケアの技法です。患者さんとの接し方、信頼関係の構築方法として学ぶことができると思います。また、患者さんへの接し方が治療効果の向上にも繋がるとのことです。“診療”を冠に置く私たちの職種にとって大きな力になるのではないでしょうか。接遇も撮影技術のひとつであることを再確認し、さらなる撮影技術の向上を目指し一緒に学びませんか。

他職種の方も大歓迎です。ぜひお誘いください。チーム医療を構築するお力添えになれれば幸いです。

記

日 時：平成27年11月6日（金）19時00分～20時30分（受付開始：18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（※当日参加も可能です）

問い合わせ：第6地区委員長 岡部博之 E-Mail：area06@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



第3地区研修会

テーマ「ティーチングファイル －ここがポイント－」 ASOってなに？ 病態から治療まで

今回はASO（arteriosclerosis obliterans）について研修会を開催したいと思います。ASOとは主に下肢の血管が慢性に閉塞することによって、軽い場合には冷感、重症の場合には下肢の壊死にまで至ることがある病気です。われわれ診療放射線技師が知っておきたい、病態から撮影法・IVRによる治療法について3名の所属地区委員が講義を行いながら、皆さんと一緒に勉強できる研修会を企画しました。

この機会に多くの情報を収集していただければ幸いです。皆さんの参加をお待ちしています。

—プログラム—

「ASOってなに？」	東京医科大学病院	松本 亘 氏
「ASOのCT撮影」	東京医科大学病院	平瀬 繁男 氏
「ASOのIVR」	国立国際医療研究センター病院	若松 和行 氏

記

日 時：平成27年11月19日(木) 19時00分～20時30分 (18時30分受付開始)

場 所：東京医科大学病院 研究教育棟3階 第1講堂

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

ア クセス：丸の内線西新宿駅より 徒歩約1分、JR新宿駅西口より 徒歩約11分

受 講 料：診療放射線技師500円、一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

情報交換会：会費4000円（※予約の都合上、参加希望の方は研修会申し込みフォームの通信欄、または下記メールにて連絡をください）

問い合わせ：第3地区委員長 平瀬繁男 E-Mail：area03@tart.jp

以上



お知らせ

5

第4地区研修会

テーマ 「Exposure Indexの使用方法と注意点」

講師：東海大学医学部付属八王子病院 由地 良太郎 先生

1895年 W・C Röntgen博士がX線を発見して120年が経ちました。

現在、われわれを取り巻く環境ではアナログからデジタルに移行しており、環境の進歩とともに被ばく線量についても関心が高いところと思われます。

そこで、今年度の研修会では一般撮影のデジタル画像に着目し、統一的な線量指標であるEI値※に焦点をあわせました。このEI値の概念や有効的な使用方法について理解を深め、撮影条件の最適化や被ばくの低減など、さらなる医療安全に貢献して頂きたいと考えております。多くの皆様方の参加をお待ちしています。（※線量指標とは、富士・コニカはS値 キヤノンはREX値 フィリップスはEI値など）

記

日 時：平成27年11月27日(金) 19時00分～（受付開始：18時45分～）

場 所：東京都済生会中央病院 新棟7階 第1会議室

参 加 費：診療放射線技師 500円

一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料

申込方法：氏名・地区名・勤務先を記載の上、メールアドレス（area04@tart.jp）でお申し込みください。もしくは、東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（申し込み開始10月1日より）

問い合わせ：第4地区委員長 竹安直行 E-Mail : area04@tart.jp

以上



平成26年度
新人奨励賞 受賞報告



「当院の接遇への取り組みについて」

○松永麻美、小野博史、藤田賢一、土田靜男

公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院

【目的】

外来患者アンケートを行った際、放射線科への意見があった。これは、接遇に対する意識を見直すきっかけになった。病院スタッフ全員の接遇は、良くも悪くも病院に対する評価に関わってくる。患者が安心して検査を受けられ、満足してもらえるよう接遇改善を行った。

【方法】

2011年から2013年に行った過去4回分の外来患者アンケートに記入された意見をまとめ、患者さんの抱えている不満や不安を解消し、笑顔になるような環境づくりのために普段行っている接遇への取り組みをまとめた。

【結果】

患者さんからの意見・要望

1. 「横になってとか、息を止めての声が小さい」
2. 「検査をするときの更衣室が狭い」
3. 「骨密度の部屋から一般撮影室に移動する際、タイルとカーペットの段差が気になる」

改善点

1. 普段から聞き取りやすい声かけを心がけているが、高齢の方には声のボリュームを大きくしたり、ゆっくり話すなど、よりいっそう声かけに気を使うようになった。また、耳の不自由な方や日本語がわからない方のため、フリップボードなどを用意し、息止めに使用している。
2. 一般撮影室の更衣室は各部屋2つずつあるが、狭い作りになっており、建物の構造上更衣室を広くすることは難しい。身体の不自由な方や狭いところが苦手な方、車椅子の方などには、更衣室ではなく撮影室内で着替えができるよう、ガラス窓にカーテンを設置した。また、動くことが辛い方にはタオルを体の上にかけ、ズボンを下ろしてもらうなど、極力動きが少なくなるようにしている。
3. 部屋の移動をする際に、「足元に気をつけてください」など一声かけたり、足の不自由な方の身体を支え、負担を少なくしている。

当院で行っていること

1. 放射線科には、さまざまなモダリティがあり、病院内で迷ってしまう患者さんが多くいる。これを防ぐため、モダリティでファイルを色分けし、地図も表示している。色分けをすることにより、どのモダリティの検査か一目でわかるため、迷っている患者を見つけた時に、スタッフの案内もスムーズに行うことができる。また、床にもファイルと同様に色分けしたテープを貼り、壁には案内用のポスターを掲示している。
2. 依頼されたオーダーをただ撮るだけでなく普段からコミュニケーションをとり、撮影をしている。例として、患者さんから痛い所を聞くことにより、左右間違いやオーダー間違いに気づくことができる。インシデントレポートの活用により、指示ミスが2011年、2012年では約80件あったが、2013年では34件まで減らすことができた。(Fig 1)

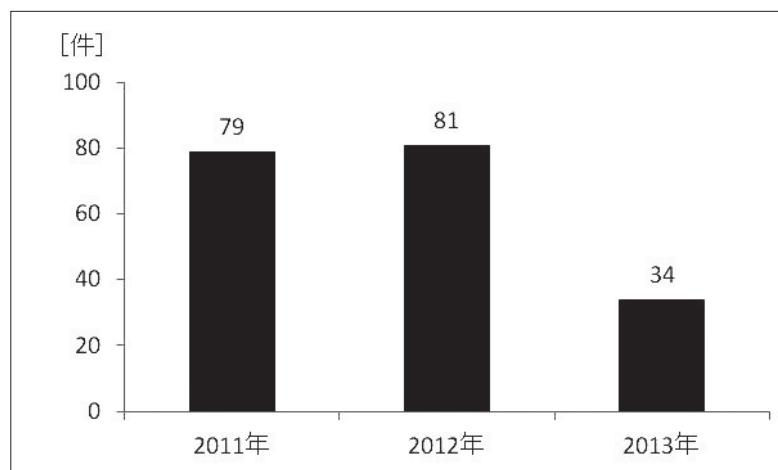


Fig 1 指示ミスインシデント報告

アンケート結果

「医療スタッフ、技師から受けた説明はわかりやすかったですか」という質問では、「わかりやすかった」という回答が、過去4回とも約9割と、高い評価を得ることができた。「どちらともいえない」、「わからなかった」という回答は約1割と少ない結果となった。(Fig 2)

「医療スタッフ、技師の言葉遣いや態度に満足されましたか」という質問では、「満足した」という回答が過去4回とも約9割と、高い評価を得ることができた。(Fig 3)

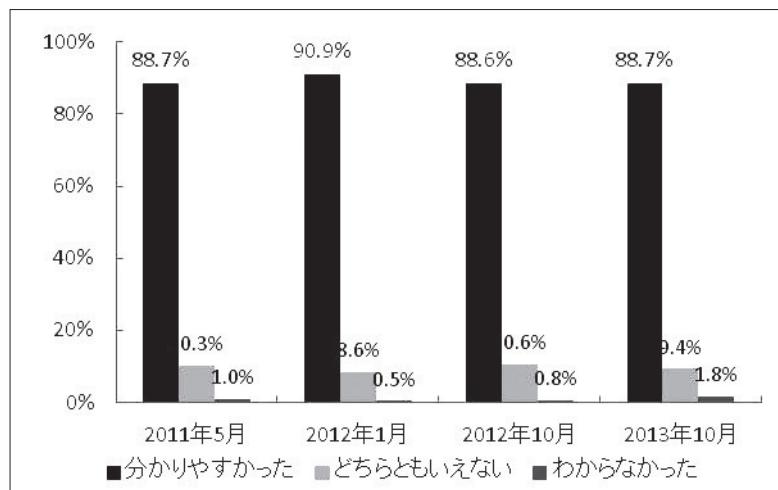


Fig 2 説明のわかりやすさ

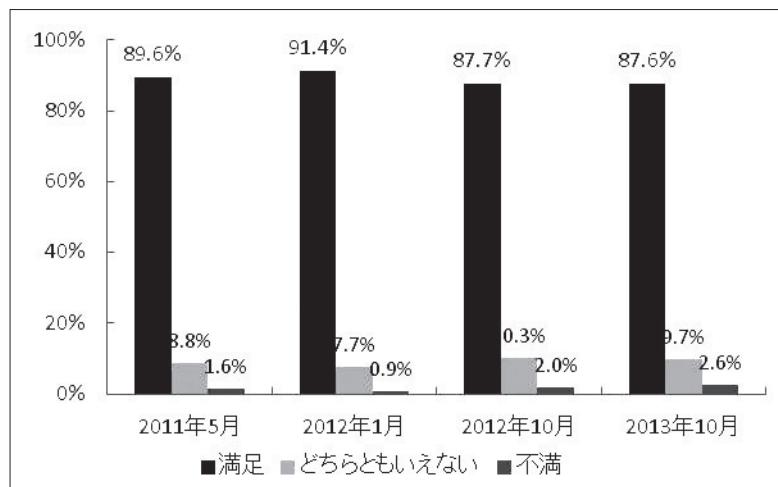


Fig 3 言葉遣いや態度に対する満足度

【考察】

接遇に対する意識を見直し改善することでスタッフの意識を高めると共に、患者満足度を上げることに繋がった。今後もよりよい接遇を行い、満足してもらえるよう活動を続けていきたい。

誌上講座 超音波

超音波検査 はじめの一歩 (VOL.2)

菅 和雄 (中央医療技術専門学校)

ドップラー効果 前回からの流れでドプラのお話しから始めたいと思います。

オーストリアの物理・数学・天文学者Johann Christian Dopplerは1842年、音源と観測者の運動によって振動数(周波数)が変化することについて数式を作り仮説としました。この現象はドップラー効果と呼ばれ、1845年にオランダのBuys Ballotらによる絶体音感をもつ人が走行する列車でトランペットを吹き続け、音程の変化を調べるといった一風変わった実験によって証明されています。

ドップラー効果を説明するのによく使われますが、救急車が近づくときや遠ざかるときに音程が変わる現象、これがドップラー効果です。超音波検査では主に赤血球が反射体であり、血流による周波数の偏移をドプラ偏移周波数と呼び f_d で表します。

f_d はプラスとマイナスがあり、マイナスはもとの周波数 f から f_d を引算して低い周波数となることで遠ざかる血流、逆にプラスは $f + f_d$ によって高い周波数となり近づく血流を表します。ギターも同様で、ペグを回して音程が高くなると周波数も高くなります。また、チューニングしようと音叉と弦から同時に音を出すとき、音程が狂っていると音はうなります。これは周波数の異なる音が干渉をおこしたもので、うなりの周波数はたかひの周波数の差『 $f - f'$ 』となります。超音波診断装置内でうなりは参照周波数と偏移した受信周波

数とで発生させ、偏移周波数がプラスかマイナスかの判別を行い、検波したものをFFT解析し、流速波形として表示します。

さて、物理現象に対しては『ドップラー効果』と呼びますが、超音波検査の分野では『ドプラ』という語句が使われます。以後、ドップラーを『ドプラ』と替えて説明させていただきます。

ドプラモード 超音波ドプラ法には、考案された順に連続波ドプラ(以後PWD*)、パルスドプラ(以後PWD*)、カラードプライマージ(CDI*), パワードプライマージ(PDI*)があります。図1は『無数に続く周波数が一定の波』、即ち連続波を表したものですが、連続波のパワースペクトルは線スペクトルとなり、送信波を実線とすれば、近づく反射体からの反射波は破線で示すよう周波数が高くなります。この方式は心エコーなどで高速血流の測定に用いられ、超音波ビーム上にある血流の最高流速を表示します。波形と画像の差はあれ、エックス線CTでいうMIPというところでしょうか。ところで、診療放射線技師が心エコーや連続波ドプラ検査に携わることは多くなく、腹部エコーや体表臓器のエコー検査に携わることが多いように思います。この領域でのドプラ検査はパルス波を用いたPWDとCDIが主となります。

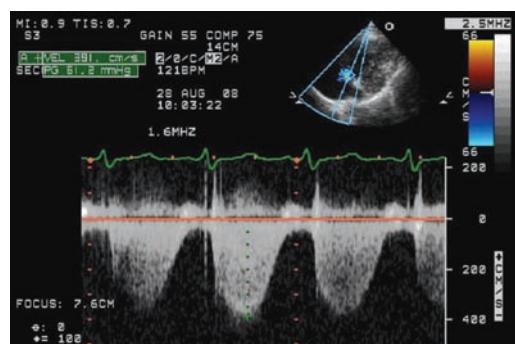
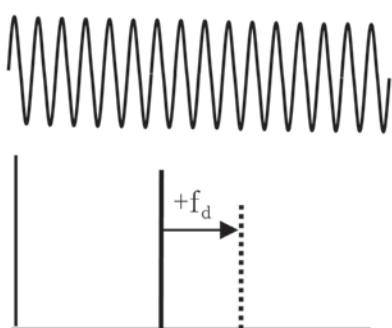


図1 連続波(左上)と連続波のパワースペクトル(左下)。 $+f_d$ は近づく構造物からのドプラ偏移周波数。右は連続波ドプラ(心エコー)。

PWD Bモード画像の、ある領域にROI（またはカラーエリア）を設定し、領域内の血流をBモード画像と重ねてカラー表示するのがCDI、BモードまたはCDI画像にさらに超音波を送信し、そのビーム線上に任意に置いたサンプルボリュームの流速波形を表示するのがPWDです（図2）。

メモリーした画像にカラー画像や流速波形を重ねて表示するためフレームレートが低下することは必至です。

さて、連続波のパワースペクトルは線スペクトルでしたが、BモードやPWDで利用するパルス波では前号で記載したとおり、幅を持ったスペクトルとなります。連続スペクトルとはいえ、離散した多数の線スペクトルの集合であり、パルス幅が狭いとスペクトルの幅（帯域）が広く、パルスとパルスの間隔が長い、即ち低PRFであれば離散した線スペクトルの間隔は狭く、高PRFで広くなります（図3）。

CWDは高速血流の測定に使用されるお話をしましたが、PWDも心エコーでの血流測定に使用され、任意の位置がサンプリング可能なため有用です。しかし、測定可能な流速には限界があります。今までのドプラ偏移周波数 f_d は参照周波数を f_0 、血流速度を V 、音速

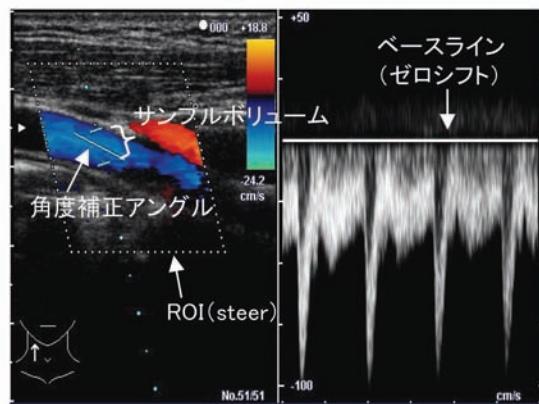


図2 CDIとPWD

をCとすると次式で計算され、移項して流速Vも算出できます。

$$f_d = f_0 \frac{2V}{C} \quad V = \frac{f_d}{f_0} \cdot \frac{C}{2}$$

計測可能となる最大流速は f_d で決まり、図4のように近づく（toward）遠ざかる（away）両者の流速を表すためにはサンプリング周波数であるPRFの半分

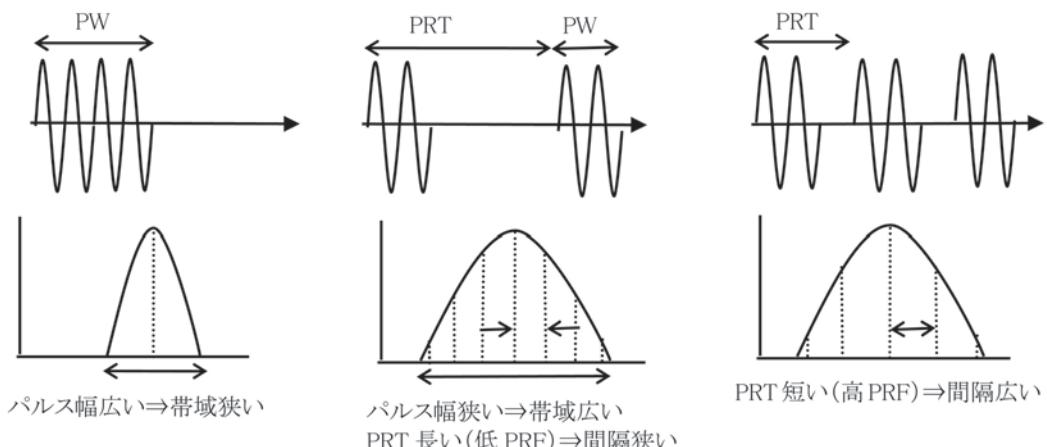


図3 PW, PRF とパワースペクトルとの関係

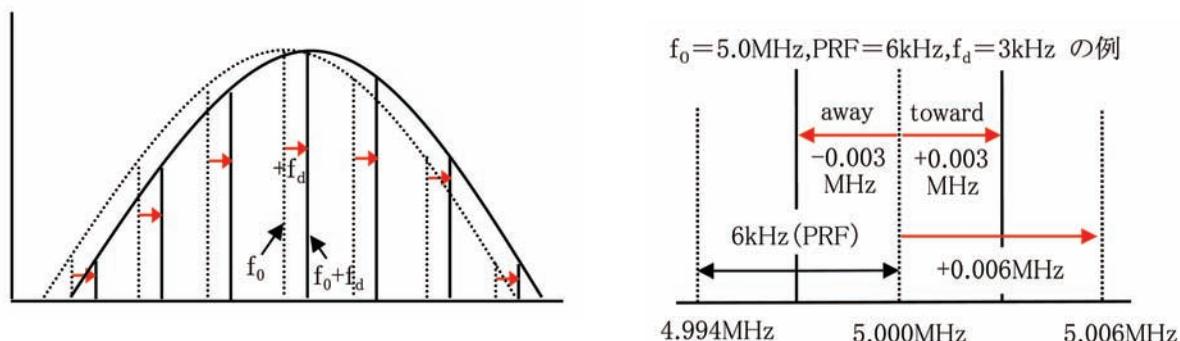


図4 $+f_d$ の偏移があったパワースペクトルの模式図（左）。右は実際に数値を入れたもの。

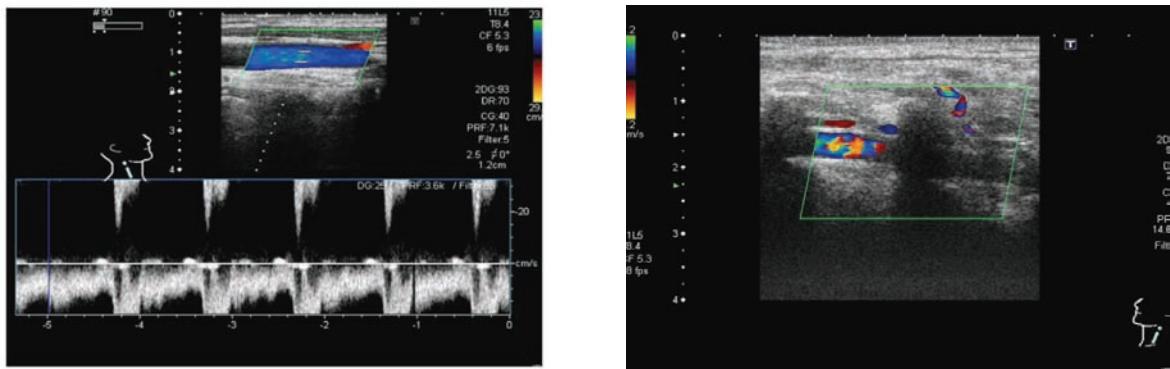


図5 左はPWDで折り返し現象が発生。右はCDIでの折り返し現象。

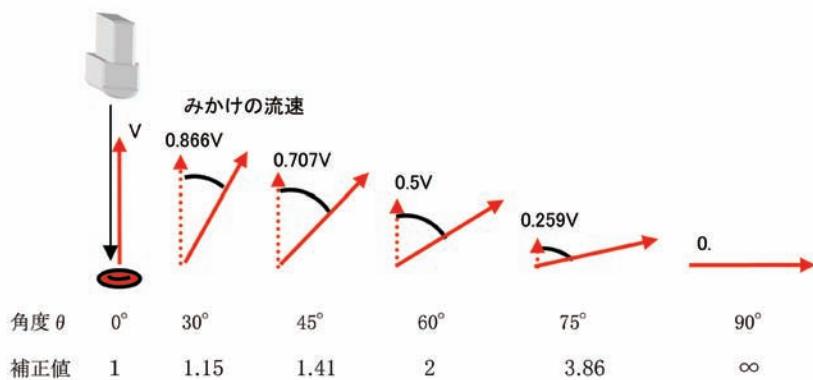


図6 送信ビームに垂直方向にある血流は正しくVとなるが、みかけの流速比は角度によって変化。補正值はみかけの流速比の逆数。

とされ、これをナイキスト周波数 f_{Nyq} と呼びます。 f_{Nyq} を超えた流速では、図5のように折り返し現象(aliasing)というアーチファクトが発生します。これを回避するにはベースラインを目いっぱい上げ下げするか、流速レンジを調整することで可能となります。後者の流速レンジについては前回で述べた深度調整を可能とするPRFの調整にほかなりません。PRFを高くすることでカメラ撮影を例にするとシャッタースピードが速くなつて、連写する間隔も短くなるため速い流速も捕えることが可能となるわけです。

$$f_{Nyq} = \frac{PRF}{2} \quad V_{max} = \frac{PRF}{2} \cdot \frac{C}{4}$$

角度補正 超音波ビームと血管の角度を 0° とするのは腎葉間動脈では容易ですが、他の部位では困難な場合が多くあります。超音波ビームと血管走行との角度を θ とすると前に示した式にcosが関わり、以下の式によります。

$$f_d = f_0 \frac{2V \cos \theta}{C}$$

この式で、重要なのは θ が 90° であれば、 $\cos 90^\circ = 0$ よりドプラ偏移周波数も0となってドプラ信号がないことになってしまいます。また、角度によって図6に示すように流速の低下がみかけの流速として表示され、補正が必要になります。補正是図6で示した角度を血管走行にあわせると自動計算されて表示されます。ただし、 60° 以上ですと補正值が2以上となり誤差を多く含むことになるため 60° 以内でサンプリングす

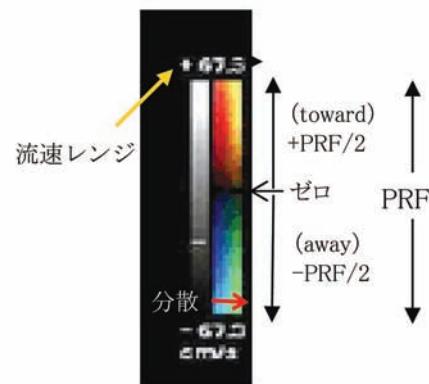


図7 カラーバーとグレイスケールバー分散は右方向に表示されている。グレイスケールバーはモニタの輝度を表す。

るよう推奨されます。

C D I C D I またはC F M*は1982年アロカの技術者滑川孝六郎先生が主となって開発され、臨床では埼玉医大心臓外科の尾本良三先生によってtowardはときめくパッションのレッド、awayは去るときの気持ちであるブルーをマッピングのカラーとしたそうです。原理は、R O I 内で同一線上に i 回（実際は10数回）のビームを送信して i 番目と i +1 番目の位相差の平均を出し（自己相関法）、血流の方向性とカラー輝度によって流速を表示します。モニタ画面にあるカラーバーは

平均流速と分散、流速レンジが表示されます（図7）。このようなC D I はドプラモードのなかで最も多用され、構造物内の血流の有無、多血性か乏血性か、P W D のガイドなど広範囲に利用されています（表1）。

さて、VOL. 1 ~ 2 ではごく一部の基礎的な内容について触れました。VOL.3からは実践的な内容に入り、まずは肝臓の超音波検査からです。

*contentious wave doppler, pulse wave doppler, Color Doppler Images, Color flow mapping

表1 C D I 観察の意義

血流の有無と欠損

臓器との鑑別 上腸間膜静脈と肝外胆管の識別など
頸動脈低エコーブラーカの検索など

腫瘍との識別

血流あり 胆囊腫瘍・肝外胆管腫瘍など
血流なし 胆泥、結石、小さなコレステロールポリープなど

血流の状態（疾患での例）

多血性 甲状腺機能亢進症、肝細胞癌、カルチノイド、他
乏血性 浸潤性膵管癌、転移性肝癌、肝血管腫（典型的）、他

血流（血管走行）特徴的形状

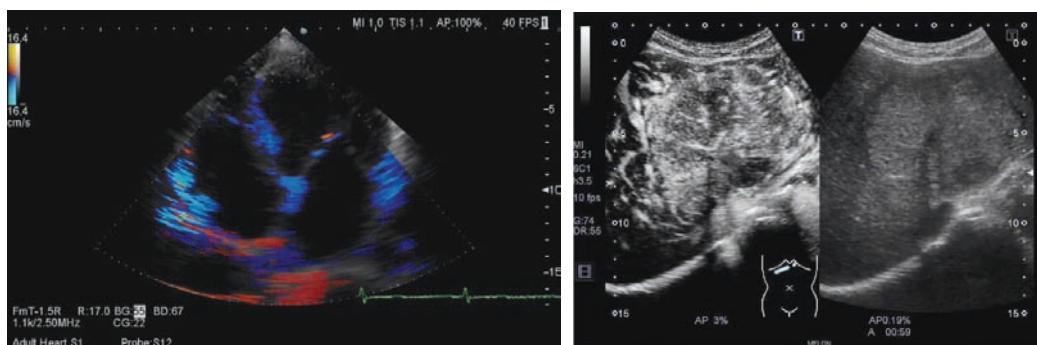
バスケットパターン 肝細胞癌、カルチノイド
車輪状 肝限局性結節性過形成など

血流の方向性

椎骨動・静脈の同一色 鎮骨下動脈盗血症候群（SSS）の有無

超音波 今むかし

今回はもっとも『今』の画像（検査法）を提示いたします



（左）組織ドプラ（TDI）による心筋イメージ

（右）肝カルチノイド（神経内分泌腫瘍（neuroendocrine tumor; NET）の造影検査でみられたバスケットパターン

（菅 和雄）

「中央区クリーンデー」に参加して

聖路加国際病院 高瀬正行

「東京放射線」のお知らせを確認していたところ今回のイベントを見つけ、勤務地から近いことから参加させていただきました。事前に申し込みをしなかったことから断られることも承知で当日集合場所に行きました。当初、技師会の活動だと思っていましたが、中央区全体で行っており、地域コミュニティの参加団体の一つとして参加しました。

病院とは、第一に地域住民への医療貢献で、次に広域高度医療提供であると考えることから、本来は病院として参加者を募るべきだったのではないかと感じました。

清掃活動を振り返って、日頃は道に落ちているゴミに見向きもせず、また下を向いて歩くことが少ないとから視点を変えることで多くのことを感じました。例えば同一銘柄の缶コーヒーが7~8個あった歩道脇では、恐らく車を利用し休憩場所として同一人物が常習的に投棄していると考えられました。ゴミとして一番多かったのは吸い殻をはじめタバコ関連でした。ゴミを集めて収集場所に行き、多くの地域の皆さんに感謝され手土産まで頂きお祭りの誘いまでしてくださいました。今回参加して本当に良かったと思います。



日暮里清掃活動（クリーン日暮里21）に参加して

第5地区委員長 鈴木 雄一

平成27年7月20日、第5地区恒例のイベントとして日暮里清掃活動（クリーン日暮里21）が開催されました。この活動は、荒川区が区内の環境美化推進事業の一環として始めたもので、東京都診療放射線技師会そして所属地区である第5地区として、約5年前からご一緒させていただいている環境美化活動です。本年6月にわれわれの5年間の活動が荒川区に認めいただき、公益社団法人東京都診療放射線技師会として荒川区環境区民大賞奨励賞をいただくことができました。この場をお借りして、この活動に携わっていただきました全ての方々に感謝申し上げます。

今回参加された方々は、日暮里町内会の方々や小学校の生徒さん、警察関係者など荒川区にお住いや、関わりのあるさまざまな方々です。東京都放射線技師会からは13名（会員11名とお子さん2名）参加を致しました。天候は初夏の陽気で、朝10時にゴミ拾いを開始してから、滴り落ちる汗を拭きながらの清掃活動となりました。以前に比べゴミが確実に減っている感じる場所と、減らないな、変わらないなと思うところがあります。確実に減っているなど感じるのは、駅前ロータリーのような人目につくところです。反対にゴミの量が変わらないなと思うところは、人目に付きにくい路地裏の堀の隙間などです。やはり、人通りが多い所や、ゴミが元々ないところで、ゴミや吸い殻を捨てるというのは、周りの目を気にしてか、なかなかないと

思います、ないと信じたいです。しかし、人目に付きにくい所で、すでにゴミがあるところは、ゴミがあるから良いか… 吸い殻があるから良いか… という連鎖でゴミがたまってしまうのではと感じています。ゴミを捨てる人は少数だと思いますが、捨てる際に多少の罪悪感があるのではないかと思います。町中にゴミを捨てようと思っても、近くにゴミ箱がない… ゴミを早くどうにかしたい… こっそり捨てるか…、というような。これは単純な話ではありませんが、近くにゴミ箱があれば、そしてゴミを捨てる人がもう少し、ごみが捨てられる場所を探す、持っていく気持ちがあればゴミのない街を作れるのではないかと感じています。つまり、ゴミを減らす、なくすというのは、個人だけでなく、街や社会全体で取り組んで行くべきものなのだと改めて感じました。

道端にゴミを捨てる時は、罪悪感を覚えているかもしれません。しかしゴミを拾う時は、間違いなく爽快感と満足感を味わえます。荒川区から賞をいただきましたが、まだまだこの活動は続けていく所存です。基本的には毎月20日で土曜日か日曜日、もしくは祝日に開催を予定しています。皆さんもぜひ一度一緒に清掃活動してみませんか？ 地域の方々、さまざまな職種の方々、そして他の地区の方々と一緒に、仕事とはちょっと違った、清々しい汗を流してみましょう。



「KSHS第5回全国大会」に参加して

JR東京総合病院 牛川多恵

台風一過で夏の日差しに恵まれた平成27年7月19日(日)、ゲートシティ大崎・ウェストタワー地下1階ゲートシティホール&会議場において「KSHS第5回全国大会¹⁾」が開催されました。「KSHS²⁾」て、なに…?と思われる方もいると思いますので、私から少し紹介させていただきます。「KSHS」とは、「キッチンと手術・ホンネで再建の会」の略称で、乳がん治療・乳房再建の経験者をメンバーとする「乳がん体験者の会」です。年に一度、全国から乳がん体験者やその家族、乳がんに不安を感じている方などが集まり、診断から治療、そして再建の事について、現在活躍されている医師の講演だけでなく、本音で話ができる大会として開催されています。第5回大会は、海の日を含む3連休の中日にも関わらず、全国から300人を超える参加者が集結し、会場は大変な盛り上がりをみせていました。

私がこの「KSHS」のボランティアスタッフとして参加するきっかけとなったのは、よこはま乳腺・胃腸クリニックの大内里香さんからの紹介と職場の先輩の勧めからでした。当日は、東京都診療放射線技師会広報委員会の高坂さんなど、総勢13名の診療放射線技師で会場準備や参加者の誘導・案内などをKSHSスタッフと一緒に和気あいあいと自然に取り組みました。

この「自然に…」という言葉が非常に印象的だと思いませんか? それは、KSHSスタッフの皆さんのが「とても明るく、そして前向きであること」、それが

ボランティアスタッフにも分け隔てなく接してくれる…自分が医療者であることを忘れるくらい自然に自分の体験談や思いを話しながら1日を過ごすことができ、自然にイベントスタッフの一員として参加していたというのが印象であり、診療放射線技師として新鮮で貴重な体験が出来たと感じています。ちょっと私の印象が長いKSHSの紹介となりましたが、続けて当日の大会の様子をご紹介します。

今年で、第5回となる本回は「見て、聴いて、触って学べる～乳がん治療のホンネ2015～ありがとうを伝えたい」をテーマに、乳がん診断・治療の基礎知識から乳がん学会での最新トピックス、各医師による再建方法の紹介等を乳がん体験者であるメンバー自らが進行し、終始アットホームでありながらも、さまざまな情報を学ぶことができました。

本大会のイベントスタッフは、乳がん体験者が主催し、乳がん患者へのフォローとして経験談を伝え、一緒に考える「患者さんによる患者さんへ向けたイベント」であったため、手伝いを通して沢山の乳がん体験者と触れ合うことができました。どの方も元気に満ち溢れおり、乳がん体験者だという事を微塵も感じさせず「自分自身も乳がん治療中この会に救われたから」、「この会のおかげで沢山の仲間にも巡り会えたから」という熱い思いを胸に、活動されていました。当日のみの参加であった私たちを快く歓迎していただき、



当日の様子（メインホール）



参加した診療放射線技師メンバー

終始楽しくイベントスタッフの手伝いをさせていただきました。

さらに、KSHSメンバーの熱意に答えるように乳腺外科医・形成外科医・外科医・放射線科医・放射線腫瘍医・病理医・ストレスケアカウンセラー・医療ジャーナリスト・美容ジャーナリストと大会に参加された専門家たちも、自分たちが志している医療の信念を熱く語り、一方的でなく参加者の立場を考えた親しみやすい口調で話され、どの参加者もメモをとりながら、話に聞きいっていました。会場では、医師やKSHSのイベントスタッフに聞きたいことなど、質問を当日受付、その回答をイベント会場で医師やKSHSスタッフが説明をするといった形式で、参加者には非常に役立ち“本音”を聞ける大会という意味を実感できました。さらに、大会終了後には近くのお店を貸し切って懇親会が開催されるのが恒例だそうです。

懇親会の参加者は、KSHSスタッフや医師、講師だけでなく、大会参加者も一緒に、まさしく本音で話せる場でした。総勢100名を超える参加があり、印象としてはスタッフと大会参加者が半々といった感じでした。そして、私たちも参加させていただきました。大会を作り上げていた皆が一同に集まり、興奮冷めやらぬ中、ざっくばらんに交流を深めあっていました。大会では檀上に居た講師の先生方も、普段見せない一面を懇親会では見せ、より一層大会参加者と先生が一体化となり、懇親会場は大会を超える盛り上がりをみせていました。私たちも、大会参加者や医療ジャーナリストの方と話したり、ナグモクリニック南雲先生と写真を撮ったりと、KSHSスタッフと抽選会まで楽し

せていただきました。

私は、現在診療放射線技師として6年、放射線治療部門に配属されて4年目になります。研究会や研修会に多く参加し、日々技術向上や安全管理業務に励んでいます。今回参加させていただいた経験は、日々の業務とは違った観点から技術向上、安全管理業務の大切さ、重要さを感じ取れる体験だったと言えます。患者さんの「悩み」、「思い」など本音を聞き話したこと、患者さんの背景を知ることは自分の業務を見つめ直す大きなきっかけになると感じました。また、多くの診療放射線技師とも交流を深められ、とても有意義で過ごした時間以上の収穫が得られたと思います。

私たち診療放射線技師は、日々「良い画像を撮影するため」、「精度良い治療するために」と勉強会に参加することは必須だと思います。しかし、患者さんあっての撮影・治療であること、今回のような患者さんと交流できる会にも積極的に参加し、より患者さんに寄添った診療放射線技師を目指していきたいと思いました。6年目の技師が言える事ではありませんが、患者さんとの交流を深める活動を、東京都診療放射線技師会を通じて、取り組んでいける事を切に願います。

最後になりましたが、このような機会をいただいたKSHSの皆さん、大内様および東京都診療放射線技師会にお礼申し上げます。

- 1) KSHS第5回全国大会：http://www.kshs-japan.net/info/meeting_info_150719_t2.html
- 2) KSHSホームページ <http://www.kshs-japan.net/index.html>

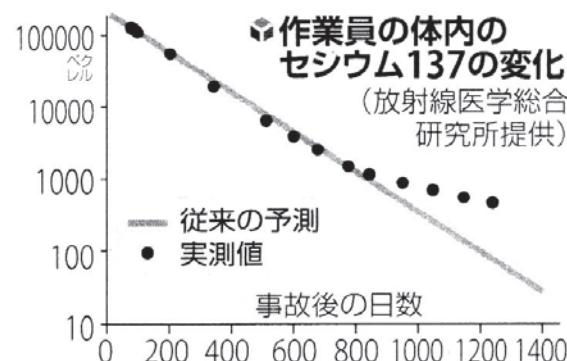


担当が一緒になった横浜労災病院の岩澤さんと参加者への景品詰め！

NEWS ひろい読み

セシウム排出予測より遅い 放医研 福島第一作業員追跡調査

福島第一原子力発電所で事故対応にあたった東京電力の作業員が体内に吸い込んだ放射性セシウムは、当初の予測より体外への排出が遅いという追跡調査結果を、放射線医学総合研究所の谷幸太郎研究員らが発表した。谷研究員らは、セシウムの一部が水に溶けにくい化合物になり、肺に長くとどまるためではないかと推定している。被ばく線量を見積もる計算モデルの見直しにつながる可能性があるという。同研究所では、事故直後に原子炉の中央制御室で監視業務などにあたり、被ばく線量が特に高かった作業員7人について、年に数回、検査を受けてもらい、体内的セシウム137などの量を測っている。作業員のセシウム量は、事故後、約2年間は、「肺から血液へ溶け込み、尿などを通じた排出により、70~100日ごとに半減していく」という予測通りに減少していた。しかし、2013年の半ば頃から減り方が鈍くなった。予測は、「国際放射線防護委員会」(ICRP)の勧告に基づき、水に溶けやすいタイプのセシウムを前提として計算する。谷研究員は「水に溶けにくいセシウムが混じっていると考えれば、肺から血液への移行が遅くなるので、今回のデータとつじつまが合う」と説明する。7人の被ばくは最高で約679mSvに上ったが、大半は極めて短期間で減少する放射性ヨウ素の吸入によるものだった。セシウムの体内残存期間が少し長引いても、作業員の健康に対する影響は大きく変わらない見通しだ。一般住民はセシウムの吸入量自体が極めて少ないため、心配ないという。弘前大被ばく医療総合研究所の床次真司教授は「放射性物質が拡散する事故は限られており、データも多いわけではない。体内的セシウムの動き方について、再検討が必要になるかもしれない」と指摘する(8.10読売)



難病の潰瘍性大腸炎 細胞移植で機能回復/東京医科歯科大、マウスで確認

東京医科歯科大学の岡本隆一教授らの研究グループは、難病の潰瘍性大腸炎で病巣部に細胞を移植して治療する手法を開発した。マウスを使った実験で移植した細胞が1カ月すると腸に定着、病気が治ることを確認した。2016年度中にも臨床試験の実施に向けた申請を目指す。岡本教授らが開発した手法は、まず正常な腸の部分から腸の細胞を採取して培養する。その後、特殊な内視鏡を使って1平方センチあたり約1億個の細胞を病巣部に移植する。内視鏡は病巣部に細胞を散布して表面をゼリー状の物質でコーティングすることができる。細胞が腸に定着するとゼリー状の物質は溶けて体外に排出される仕組み。開発した手法が有効かどうか、毒物を投与して潰瘍性大腸炎を発症させたマウスを使って実験した。その結果、移植から1カ月後にはくぼみがあり、腸内の組織として機能することを確かめた。潰瘍性大腸炎の症状も治まった。iPS細胞の移植も検討している。一般的なiPS細胞にみられる腫瘍化や分化誘導の効率の低さの問題が解決されれば、同手法を使って移植できるとみている。潰瘍性大腸炎は、大腸が炎症を起こして下痢を繰り返す。根治療法ではなく薬の投与によって炎症を抑える。悪化すると腸の細胞が死滅して、腸の大部分を切除しないといけなくなる。日本に15万人の患者がいるとされる。(7.23日経産)

胃がん検診内視鏡推奨/厚労省方針 エックス線との選択に

厚生労働省は、市区町村が行う胃がん検診に、鼻や口から入れる内視鏡による検査を推奨する方針を固めた。バリウムを飲むエックス線検査も引き続き推奨し、どちらかを選ぶ。乳がん検診は、乳房エックス線撮影（マンモグラフィー）を原則とし、併用を推奨している視触診は任意とする。方針は30日の有識者検討会に示し、来年度からの実施を目指す。がん検診に関する国の方針では、死亡率を下げる効果が科学的に証明された方法のみを推奨している。胃がんの内視鏡検査については、国立がん研究センターが4月、国内や韓国の研究で効果が確認できたと発表したことを踏まえて推奨を決めた。ただ、内視鏡専門医の偏在や検診の精度管理、エックス線検査より費用がかかることなど課題が多い。鼻からの出血や胃に穴が開くことなどもまれにあり、適切に対応できる体制整備も求められる。対象年齢と受診間隔は、同センターが「50歳以上、2年に1回」を推奨。現在のエックス線検査の「40歳以上、年1回」との調整なども検討会で議論する。乳がん検診は現在、マンモグラフィーと視触診の併用（40歳以上、2年に1回）が推奨されているが、厚労省によると、視触診は2013年度、市区町村の約3割で行われていなかった。視触診の有無で死亡率に明確な差が出ないとする研究報告もあり、推奨から外すこととした。（7.29読売）

オリンパス、多関節アーム/試作機、新治療の可能性

オリンパスが6月に試作機を公開した内視鏡ロボットは、医師の作業の代替でなく、従来なかった治療を実現する可能性も秘めている。試作機は口や肛門から差し入れる。皮膚には一切、傷がつかない。一般に内視鏡の太さは直径1センチ程度。今回はその先端に、非常に小さな多関節アームを2本取り付けた。胃や大腸といった消化管をカメラで観察。さらにアームの鉗子（かんし）が関節を使って動き、患部を切除する。そんな使用イメージだ。内視鏡の先端から出し入れする器具で、

消化器内視鏡の先端で
ロボットアームが動く



比較的初期のがんを取り除く治療はある。だが、関節がなく、患部の場所によっては活用に限界があった。実用化的時期は未定だが「次世代の内視鏡」（同社）として開発課題の洗い出しを急ぐ。オリンパスは消化管用の内視鏡で世界シェア7割と言われ、圧倒的な存在だ。しかし、今回の試作機がすんなり生まれたわけではない。2000年代後半に「エンドサムライ」というアームの開発プロジェクトがあった。だが、精密な制御が難しく、電動式ではなかったためパワーも不足して断念した。同じ時期に心臓手術を想定したロボット開発も東京大学などと進めていた。12年に試作成果を発表したが、得意分野でないことなどから開発テーマを選ぶ中で撤退した。ただ、今回の新ロボットは2つの開発技術者が合流、電動式するなど過去の経験に学んで進めた。（8.24日経産）

Pipe line

パイプライン

平成27年度 東京都がん検診センター 胃X線検査従事者講演会のお知らせ

- 1 実施日： 平成27年10月7日（水曜日）14時30分から16時30分まで
- 2 会場： 東京都がん検診センター 3階講堂（下図参照）
- 3 対象： 胃X線検査に従事している放射線技師等
- 4 受講定員： 先着80名程度
- 5 受講料： 3,000円（当日お持ちください）
- 6 申込方法：
 - ①メールアドレスをお持ちの方
当センターHP講習会予約フォーム
(<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>)から
お申し込みください。
 - ②メールアドレスをお持ちでない方
申込書をFAXにて下記までお送りください。
受講いただけない場合のみ、受講連絡先にご連絡いたします。
- 7 申込締切： 定員に達し次第（当センターホームページをご確認ください）
- 8 テーマ及び講師

テーマ： 胃X線検査によるピロリ菌感染診断
～増加するピロリ菌除菌既往者への対応～

講師：JCHO滋賀病院 総合診療科部長 中島 滋美 先生

【講演概要】

近年、ヘリコバクター・ピロリ菌と胃がんの関係が明らかになり、健康保険で除菌ができる時代になった。ABC検査では、血清HP抗体検査と血清ペプシノゲン（PG）法との組み合わせにより、胃がんリスク評価を行うが、胃がんそのものを検索しているわけではない。しかし、胃X線検査では、胃がんを検索できるだけではなく、背景粘膜診断を行う事により、そのリスクであるHP感染胃炎や胃粘膜萎縮を診断することができ、胃がんリスク評価も可能である。今回、その具体的な方法と、ピロリ菌除菌既往者に対応した、背景粘膜診断と事後管理の必要性を解説する。

《お申込み・お問合せ先》

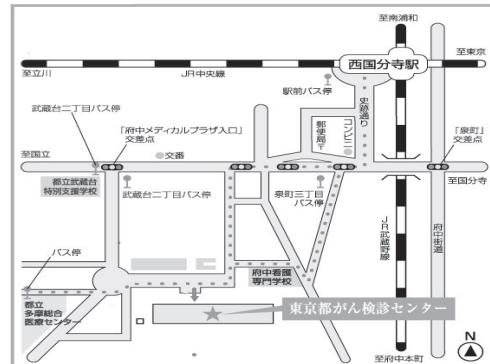
公益財団法人東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当：藤澤

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2

TEL: 042-327-0201 FAX: 042-327-0297

E-mail: togan@tokyo-cdc.jp URL: <http://www.tokyo-cdc.jp/>

- JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」
徒歩15分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国立駅」
国立駅南口「府中駅」行バス 総合医療センターアルバイト下車
- 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センターアルバイト下車



平成27年度 東京都がん検診センター
胃X線検査従事者講演会 受講申請書

日時：平成27年10月7日(水) 14時30分～16時30分

ふりがな 氏名	
勤務先名称	
勤務先住所	〒 _____
電話番号	
FAX (受講可否の連絡先)	
職種	診療放射線技師・医師・その他()
従事年数	

※ 受講できない場合のみご連絡いたしますので、FAXをご記入ください。

平成27年度 東京都がん検診センター 第1回乳がん検診従事者講演会のお知らせ

- 1 実施日：平成27年11月25日(水曜日)16時00分から18時00分まで
- 2 会場：東京都がん検診センター 3階講堂(下図参照)
- 3 対象：乳がん検診に従事している医師、放射線技師 等
- 4 受講定員：先着60名程度
- 5 受講料：3,000円(当日お持ちください)
- 6 申込方法：
 - ①メールアドレスをお持ちの方
当センターHP 講習会予約フォーム
(<http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>)からお申し込みください。
 - ②メールアドレスをお持ちでない方
申込書をFAXにて下記までお送りください。
受講いただけない場合のみ、受講連絡先にご連絡いたします。
- 7 申込締切：定員に達し次第(当センターホームページをご確認ください)
- 8 テーマ及び講師

テーマ：『ポジショニングの“何故”を考えましょう』

講師：聖路加国際病院 放射線科 小山 智美 先生

【講演概要】

正しいポジショニングひとつひとつの動作には“何故”そのようにしなければならないのかの“理由”があります。

また、間違ったポジショニングにも“何故”そのようにしてはいけないのかの“理由”があります。この講演では皆さんとこの“何故”を共有し、正しいポジショニングを改めて考える機会にしていただけることを目的にお話していきたいと思います。

正しいポジショニングで乳癌死亡率を下げることに貢献していきましょう。

《お申込み・お問合せ先》

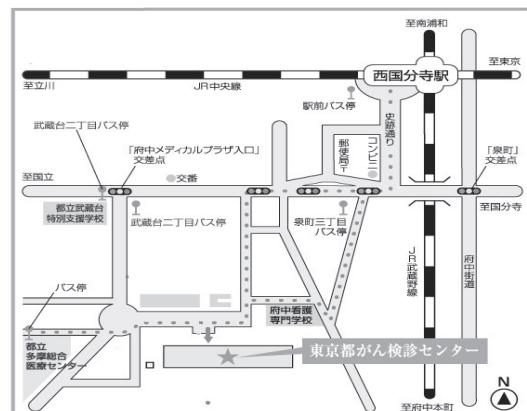
公益財団法人東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当：藤澤

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2

TEL: 042-327-0201 FAX: 042-327-0297

E-mail: togan@tokyo-cdc.jp URL: <http://www.tokyo-cdc.jp/>

- JR中央線・武蔵野線「西国分寺駅」
徒歩15分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR中央線「国立駅」
国立駅南口「府中駅」行バス 総合医療センターや下車
- 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センターや下車



平成27年度 東京都がん検診センター
第1回乳がん検診従事者講演会 受講申請書

日時：平成27年11月25日(水) 16時～18時

ふりがな 氏名	
勤務先名称	
勤務先住所	〒 _____
電話番号	
FAX	
職種	医師・臨床検査技師・診療放射線技師・その他()

※ 受講できない場合のみご連絡いたしますので、FAX番号をご記入ください。

第31回日本診療放射線技師 The 31st Japan Conference of Radiological Technologists (JCRT) 学術大会

2015年11月21日(土)・23日(月)
November 21st(Sat)- 23rd(Mon), 2015

会長: 中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)

President: Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

大会長: 虎 英彦 (公益社団法人 京都府放射線技師会 会長)

Chairman: Hidehiko Todoroki (The Kyoto Association of Radiological Technologists)

会場: 国立京都国際会館

Venue: Kyoto International Conference Center

主催: 公益社団法人 日本診療放射線技師会

Host: The Japan Association of Radiological Technologists

共催: 公益社団法人 京都府放射線技師会

Cosponsor: The Kyoto Association of Radiological Technologists

Traditional Culture and the Future
Provide excellent medical treatment with collaboration of public
and medical practitioner

伝統文化と未来

国民・医療者と協働し、質の高い医療を提供しよう

運営事務局
株式会社コンベンションリンクージ内 〒604-8162 京都府京都市中京区烏丸通六角下る七觀音町634
TEL:075-231-6357 FAX:075-231-6354 E-mail: jcrt31@c-linkage.co.jp

Secretariat: Convention Linkage, Inc.
634 Shichikannon-cho, Karasuma-dori Rokkaku-sagaru, Nakagyo-ku, Kyoto 604-8162, Japan
Tel:+81-75-231-6357 Fax:+81-75-231-6354 E-mail: jcrt31@c-linkage.co.jp

<http://www.c-linkage.co.jp/31jcrt/>



超音波スクリーニング研修講演会2015有明のご案内

■会期：平成27年12月12日（土）午前9時25分～午後4時40分

*開場・受付開始：8時30分から

■会場：TOC有明ウエストタワー20階 コンベンションホール（WEST GOLD20）

東京都江東区有明3-5-7

*埼京線・りんかい線『国際展示場』駅より徒歩3分

*ゆりかもめ『有明』または『国際展示場正面』駅より徒歩4分

*アクセス <http://www.toc-ariake.jp/conv.html>

■参加費：5,000円 事前登録不要

■主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク（理事長：桑島 章）

■共催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会

■後援：日本超音波検査学会／超音波検査法フォーラム／全国労働衛生団体連合会

日本臨床衛生検査技師会／東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床検査技師会

日本診療放射線技師会／東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会

■問合せ：E-mail：us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp（事務局）

*超音波検査士更新5点が付与されます。

*ランチョンセミナーで軽食（800食限定）の用意をしています。

*超音波関連書籍の展示販売を行います。

プログラム テーマ「USスクリーニングに必要な知識」

09：30～10：15 『腎・膀胱』 関口 隆三（東邦大学医療センター大橋病院）

10：30～11：15 『胆道』 岡庭 信司（飯田市立病院）

11：30～12：15 『頸部領域…甲状腺・リンパ節他…』

宮川 めぐみ（虎の門病院）

12：45～13：30 ランチョンセミナー 『基礎と臨床の接点』

佐々木 博（国際医療福祉大学）

13：50～14：35 『肝臓』 森 秀明（杏林大学医学部付属病院）

14：50～15：35 『乳腺』 何森 亜由美（高松平和病院）

15：50～16：35 『脾臓』 平井 都始子（奈良県立医科大学附属病院）



第39回 日本脳神経CI学会総会

The 39th Annual Meeting of the Japan Society for CNS Computed Imaging

2016年1月29日金・30日土 会長 土屋一洋 (東京通信病院放射線科 部長)

会場 日経ホール 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル 副会長 塩川芳昭 (杏林大学脳神経外科 教授)

治療に直結した神経放射線診断の実践

シンポジウム、セミナー、多数の演題から最新の研究のトレンドを知る
教育講演、フィルムリーディングで基礎知識をブラッシュアップ/アップデート

演題登録期間:2015年8月4日火▶9月15日火

■連絡事務局／株式会社コンベックス内 〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-12-1 TEL:03-5425-1602 FAX:03-5425-1605 E-mail:cnscli39@convex.co.jp

<http://cnscli39.umin.jp/>

平成27年度5月期 会員動向

総会員数		正会員				
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会
26年度集計	2088	2088	149	32	19	78
H27.4	2099	2099	13	4	1	5
H27.5	2073	2073	27	3		56

新卒新入=★

5月度	新入会(27名)	小林 真一 西村 梅子 石塚 真梨奈 丸山 智之 伊藤 直人 大類 郁 高橋 司 井上 茉里 南雲 伸斗 樋口 祥吾 渡辺 直樹 田中 菜穂 谷崎 洋 丹羽 彩乃 新貝 高弘 太齋 裕代 西村 健吾 針ヶ谷 健介 磯野 繕行 毛塚 善之 近藤 愛香 出島 寛之 村本 康隆 重松 紗綾 藤田 寛之 藤田 政来 二之宮 敦 転入(3名)	神尾記念病院 昭和大学江東豊洲病院 昭和大学藤が丘病院 昭和大学江東豊洲病院 自衛隊仙台病院 東京慈恵会医科大学附属第三病院 板橋中央総合病院 昭和大学病院 東京警察病院 豊島病院 国立病院機構災害医療センター 府中恵仁会病院 練馬総合病院 多摩南部地域病院 青梅市立総合病院 杏雲堂病院 都立墨東病院 板橋中央総合病院 永寿総合病院 平塚市民病院 練馬総合病院 こころとからだの元氣プラザ 武藏野赤十字病院 昭和大学病院 相模台病院 東海大学医学部付属八王子病院 海上ビル診療所 永生病院 住友信託銀行 新宿プレスセンター 田中脳神経外科病院 東邦大学医療センターハ森病院 刈谷 幸常 多摩丘陵病院 東邦大学医療センターハ森病院 シーメンス・ジャパン(株) メディックサイト(株) JR東京総合病院 楠瀬 誠	1 地区 7 地区 ★ 14 地区 11 地区 15 地区 7 地区 ★ — 地区 13 地区 9 地区 8 地区 ★ 10 地区 9 地区 ★ 13 地区 13 地区 ★ 10 地区 ★ 13 地区 13 地区 再 1 地区 7 地区 9 地区 2 地区 ★ 15 地区 10 地区 ★ 13 地区 13 地区 1 地区 1 地区 13 地区 15 地区 14 地区 15 地区 1 地区 3 地区 10 地区 8 地区 16 地区 13 地区 8 地区 8 地区 12 地区 4 地区 9 地区
会費滞納退会 (54名)	荒木 智広 飯塚 豊治 今村 陽子 江川 穂慈 大橋 直樹 刈谷 幸常 加藤 浩一 金好 貴志 菊池 裕子 北野 浩一 菊地 良宏 楠瀬 誠	昭和大学藤が丘病院 住友信託銀行 新宿プレスセンター 田中脳神経外科病院 東邦大学医療センターハ森病院 刈谷 幸常 多摩丘陵病院 東邦大学医療センターハ森病院 シーメンス・ジャパン(株) メディックサイト(株) JR東京総合病院 楠瀬 誠	15 地区 1 地区 3 地区 10 地区 8 地区 16 地区 13 地区 8 地区 8 地区 12 地区 4 地区 9 地区	

		倉田 紗矢香	新宿海上ビル診療所	3 地区	
		小林 真	新宿追分クリニック	3 地区	
		小杉 真世	新山手病院	12 地区	
		酒井 修	博慈会記念総合病院	6 地区	
		佐藤 飯作	日本医科大学付属多摩永山病院	13 地区	
		桜井 信子		3 地区	
		島元 雅夫	文京区議会議員	5 地区	
		清水 奈津子	東京医科歯科大学医学部附属病院	5 地区	
		鈴木 二朗	慶應義塾大学病院	3 地区	
		須藤 英世	順天堂大学医学部附属順天堂医院	5 地区	
		瀬川 佳秀	東京医科歯科大学医学部附属病院	5 地区	
		関口 幸二	東邦大学医療センター大森病院	8 地区	
		関口 恵理		8 地区	
		立川 良子	立正佼成会附属佼成病院	10 地区	
		武田 景子	医療法人社団 幸隆会 多摩丘陵病院	13 地区	
		高久 友美	東京都予防医学協会	3 地区	
		田村 正樹	国立病院機構東京医療センター	11 地区	
		田島 宏美	三井記念病院	1 地区	
		大谷 奈巳	東京慈恵会医科大学附属第三病院	13 地区	
		椿田 紘世	あそか病院	7 地区	
		辻 亜由美	東邦大学医療センター大森病院	8 地区	
		難波 紀幸	高山整形外科病院	6 地区	
		長野 情	東京脳神経センター	4 地区	
		丹羽 和夫	東京医科歯科大学医学部附属病院	5 地区	
		浜口 雄慈	日本医科大学付属多摩永山病院	13 地区	
		原田 祐介	昭和大学藤が丘病院	15 地区	
		原田 大樹	ITソフトウェア健康保険組合	3 地区	
		春山 貴行	医療法人社団新友会 プラザ30階クリニック	3 地区	
		福井 達雄	シーメンス・ジャパン(株)	8 地区	
		船木 廣和	武藏野陽和会病院	13 地区	
		福德 有希	南多摩病院	13 地区	
		真崎 正	こころとからだの元気プラザ	1 地区	
		松浦 秀雄		16 地区	
		牧島 哲宏	久我山クリニック	10 地区	
		増田 智之	聖路加国際病院	2 地区	
		宮内 宙		7 地区	
		宮西 佐代子	シーメンス・ジャパン(株)	7 地区	
		山元 秀行	東京専売病院	4 地区	
		吉崎 晴彦	都立大塚病院	9 地区	
		吉田 直人	江東病院	7 地区	
		渡辺 次雄	緑風荘病院	12 地区	
		鷺塚 冬記	東邦大学医療センター大森病院	8 地区	

平成27年度6月期 会員動向

総会員数		正会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	
26年度集計	2088	2088	149	32	19	78	0
H27.4	2099	2099	13	4	1	5	
H27.5	2073	2073	27	3		56	
H27.6	2090	2090	15	3		1	

新卒新入=★

6月度	新入会(15名)	明戸 裕	長久保病院	13 地区	
		上原 由理亜	昭和大学病院	8 地区	★
		木村 晴美	昭和大学病院	8 地区	
		小向 広貴	メディカルスキャニング池袋	9 地区	
		峰岸 知範	八王子山王病院	13 地区	★
		村上 実渉斗		7 地区	★
		弦間 彩希	青梅市立総合病院	13 地区	
		清水 真由美	三宿病院	11 地区	
		香取 薫	昭和大学病院	8 地区	★
		樺山 絵理	昭和大学藤が丘病院	15 地区	★
		松本 英明		4 地区	
		筑間 晃比古	東京医科大学病院	3 地区	
		深代 朱紀子	東京北医療センター	5 地区	
		菅原 翔太	日本大学医学部附属板橋病院	9 地区	★
		萩原 奈津美	順天堂大学医学部附属順天堂医院	5 地区	★
転入(3名)		吉岡 大貴		11 地区	
		矢島 真実	ふれあい町田ホスピタル	13 地区	
		橋本 洋志		5 地区	
未納退会(1名)	和田 裕之	NTT東日本関東病院		8 地区	

イエローケーキ

荷物の大きさ

なんの信仰心の無い私ですが、数年に一度お遍路さんになって四国を満喫しています。

1番から88番の札所を歩き通す事を「通し打ち」と言い大体50日かかるそうですが、さすがに50日も休みはとれないので、途中でやめて再度やめた所からスタートをする「区切り打ち」と言う方式でお遍路をしております。今は愛媛県の54番札所まで進んでいて、これから先をいつ行こうかワクワクしながら計画中です。

さてこのお遍路をやり始めた頃に何度もある事をやってしまいました。それは荷物を家に送り返す事です。歩きお遍路さんは全ての荷物を背負って札所を巡って行きます。なので荷物の重さは一番重要なポイントとなり、あれも必要これも必要と荷物を持っていくと自分自身を苦しめる羽目になるのです。他のお遍路さんに会うと先ず目が行くのは荷物です。“こんなに一杯どうして持ってくるのか？”と思う時もあれば“なんでそんな少ない荷物にできるの？”と感心してしまう時もあり、話を聞くと大体のお遍路さんが荷物を送り返すという事を経験しているようです。

そうした中で生まれた話でしょうか、お遍路さんにまつわる話でこんな言葉があります「荷物の大きさが煩惱の大きさ」。この言葉はお遍路に限らず普段の生活にも通じるものがあるように思え、言い得て妙だと思います。職場の仲間の通勤時のかばんの大きさを見て、煩惱の大きさを見てみるのも面白いかもしれませんね。

久作

診療放射線学科専任教員募集

東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立69年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師（臨床実務経験5年以上）、教育経験あればなお可

募集人員：若干名

学校名：東京電子専門学校

住所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇

賞与（昨年度実績5.45月）、交通費支給

勤務・休日：9:00～17:00（実勤7時間）、週休2日（土日祭休）休出は代休有、半日有給制度有

社会保険：社会保険完備（私学共済）

宿舎の有無：なし

応募方法：履歴書（写）、職務経歴書、資格者証のコピー（必要なもののみ）、通勤可能な方、担当できる教科（可能であればお知らせください）

担当者：脇坂 哲夫 E-mail : wakisaka@tokyo-ec.ac.jp

TEL : 03(3982)3131(大代表) FAX : 03(3980)6404

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成27年度

1. 学術研修会

第18回メディカルマネジメント研修会

☆第14回ウインターセミナー

平成27年11月12日（木）

平成28年1月

2. きめこまかな生涯教育

第56回きめこまかな生涯教育

第57回きめこまかな生涯教育

平成27年10月31日（土）

平成28年2月

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第50回日暮里塾ワンコインセミナー

第51回日暮里塾ワンコインセミナー＜学術教育が行く／入会促進＞

平成27年10月22日（木）

平成27年11月17日（火）

4. 集中講習会

第8回MRI集中講習会

平成28年2月

☆5. 支部研修会

城西・城南支部研修会

6. 地区研修会

第13地区・多摩放射線技師連合会合同研修

平成27年10月30日（金）

第6地区研修会

平成27年11月6日（金）

第3地区研修会

平成27年11月19日（木）

第4地区研修会

平成27年11月27日（金）

7. 特別委員会研修会

災害対策委員会研修会

8. 地球環境保全活動

日暮里駅前清掃活動

平成27年10月18日（日）

荒川河川敷清掃活動

富津海岸清掃活動

関連団体

平成27年度 胃X線検査従事者講演

平成27年度 第1回乳がん検診従事者講演会

平成27年11月7日（土）～8日（日）

平成27年度第3回業務拡大に伴う統一講習会

平成27年11月21日（土）～23日（月）

第31回日本診療放射線技師学術大会

平成27年12月12日（土）

超音波スクリーニング研修講演会2015有明

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

（新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう）

Postscript

ある日、息子からメールがきました。「犬を飼いたいと思ってます。許してもらえますか？これは家族みんなの想いです。明日まで、取り置きしてもらっている犬がいますので、帰ったら答えを聞かせてください」と。

幼いころからペットを飼いたくて仕方のなかった息子は、そのためにアルバイトをして資金を貯めていたそうです。また、妻をはじめ、他の息子達ともこの話を相談していたようで、知らなかったのは私だけでした。多数決をしても勝てるはずもなく、大勢に流されるまま……

翌日、仕事から帰宅すると、ゲージの中で円らな目で私を見る子犬がいました。最初は警戒している様子でしたが抱きかかえると、すっかり私に甘える姿を見せ、この時点で私はノックアウト、可愛らしさに参ってしまいました。そして、その陰では“してやったり”とほくそ笑む、家族の策に見事に嵌ってしまいました。

こうして我が家とのペットとの生活

が始まりました。子犬とはいえ命ある生き物なので、それからは飼い方を調べたり、詳しい人に教えてもらったりしながら奮闘の日々となりました。ちょっとエサの食べ方が少ないと「具合が悪いのでは？」とか、吠え続いていると「何を訴えたいんだろう？」などと試行錯誤しています。これでは子供達が赤ちゃんだった頃のバタバタの再現だと私が思っていたら、妻は「また一人子供が増えちゃったみたいね」と同じことを考えていたようです。

子供達から手が離れ、それぞれ部活やアルバイトと家族一緒に時間が少なくなってしまった我が家ですが、交代で散歩に行ったり、食事の世話をしたりと、この子犬を飼うことによって、この子犬を通じて、家族を繋ぐアクセントになってくれています。

〈tenai〉



■ 広告掲載社

第一三共(株)
コニカミノルタヘルスケア(株)
(株)グリーンメディカル
東京電子専門学校
東芝メディカルシステムズ(株)
富士フイルムメディカル(株)
(株)森山X線用品

東京放射線 第62巻 第9号

平成27年9月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

平成27年10月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原健一
編集代表 浅沼雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX 東京 (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康
内藤哲也
岩井譜憲
森美加
中谷麗
柴山豊喜
平田充弘
高橋克行